

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公開番号】特開 2018-108408 (P2018-108408A)

【公開日】平成 30 年 7 月 12 日 (2018.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2018-026

【出願番号】特願 2018-26004 (P2018-26004)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 11 日 (2019.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な始動口と、

遊技球が入球可能な第 2 始動口と、

第 1 の態様と、前記第 1 の態様よりも遊技球の入球可能性が高い第 2 の態様と、に変化可能な可変始動口と、

前記第 2 始動口への入球に基づいて取得した取得情報、及び、前記可変始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第 1 取得情報記憶手段と、

前記始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第 2 取得情報記憶手段と、

前記第 1 取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第 1 識別情報と

、

前記第 2 取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第 2 識別情報と

、

前記第 1 識別情報が変動表示する変動時間を決定する変動時間決定手段と、

前記第 1 識別情報又は前記第 2 識別情報の変動表示の結果が特定結果になると、遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備え、

遊技球を流下する遊技領域として、第 1 遊技領域と、第 2 遊技領域と、を有し、前記第 1 遊技領域又は前記第 2 遊技領域に遊技球を発射して遊技することを可能とした遊技機であって、

前記変動時間決定手段は、前記第 2 取得情報記憶手段の記憶態様及び前記第 1 取得情報記憶手段の記憶態様によって設定される変動条件に基づいて、前記第 1 識別情報の変動時間を決定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の課題を解決するための第 1 発明の遊技機は、
遊技球が入球可能な始動口と、
遊技球が入球可能な第 2 始動口と、

第 1 の態様と、前記第 1 の態様よりも遊技球の入球可能性が高い第 2 の態様と、に変化可能な可変始動口と、

前記第 2 始動口への入球に基づいて取得した取得情報、及び、前記可変始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第 1 取得情報記憶手段と、

前記始動口への入球に基づいて取得した取得情報を記憶する第 2 取得情報記憶手段と、
前記第 1 取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第 1 識別情報と

、
前記第 2 取得情報記憶手段に記憶する取得情報に基づいて変動表示する第 2 識別情報と
、

前記第 1 識別情報の変動表示する変動時間を決定する変動時間決定手段と、

前記第 1 識別情報又は前記第 2 識別情報の変動表示の結果が特定結果になると、遊技者に有利な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、を備え、

遊技球を流下する遊技領域として、第 1 遊技領域と、第 2 遊技領域と、を有し、前記第 1 遊技領域又は前記第 2 遊技領域に遊技球を発射して遊技することを可能とした遊技機であって、

前記変動時間決定手段は、前記第 2 取得情報記憶手段の記憶態様及び前記第 1 取得情報記憶手段の記憶態様によって設定される変動条件に基づいて、前記第 1 識別情報の変動時間を決定する

ことを特徴とするものである。